

現場後代検定成績

はやかつただ

産肉能力抜群の種雄牛『隼勝忠』の誕生について

～「勝乃幸」に次ぐ、本県歴代2位のBMSNo.9.0～

全国的に高い知名度を誇る気高系種雄牛「勝忠平」を父に、脂肪交雑育種価の優れた「きくひめ」を母に持つ、気高系の種雄牛「隼勝忠」号（平成24年10月4日生、壱岐市産）の現場後代検定が終了しました。

検定成績は下表のとおりで、上物率（4・5等級率）100%、ロース芯面積 69.8 cm² バラの厚さ 8.2cm、枝肉重量 506.4kg と各項目で県平均を大きく上回りました。さらに、肉質において最も重要視される脂肪交雑は、BMSNo. 9.0と「勝乃幸」に次ぐ、本県種雄牛歴代2位の成績であり、今後「長崎和牛」の品質向上に大きく貢献することが期待されます。

現場後代検定成績（去勢9頭）

区分	脂肪交雑 (BMSNo.)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	上物率 (%)
隼勝忠	9.0	506.4	69.8	8.2	100.0
県平均	6.8	486.4	58.0	7.9	81.7

※ 県平均：平成28年次長崎県産産子の肥育成績(去勢)平均値（改良センター集計）

<血統>

(父牛)勝忠平	{	平茂勝	—	第20平茂
		うめ2	—	忠福
(母牛)きくひめ	{	平茂勝	—	第20平茂
		こぎくひめ3	—	第5隼福

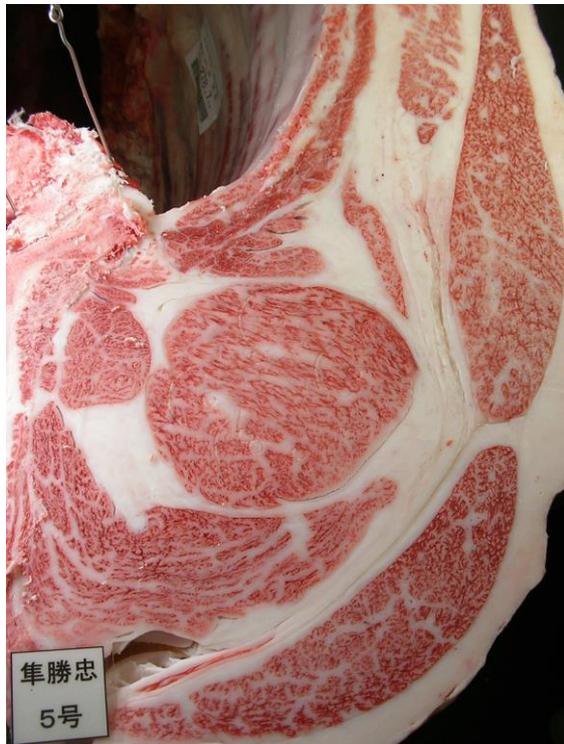
『隼勝忠』本牛



<主な枝肉成績>



BMSNo. 1 2 (A5) 枝肉重量：553.9kg
コース芯：82cm² 出荷月齢：29.3ヶ月
血統：隼勝忠一平茂晴一金 幸



BMSNo. 1 1 (A5) 枝肉重量：537.9kg
コース芯：90cm² 出荷月齢：29.0ヶ月
血統：隼勝忠一安福久一平茂勝